



国立国際医療研究センター 国府台病院

国立高度医療研究センターである国立国際医療研究センター(新宿区)が持つ総合病院の一つで、千葉県市川市にあります。精神科とは別に児童精神科(専門病棟あり)を持つ唯一の国立高度医療研究センターです。当院児童精神科は昭和23年に開設された長い歴史を持つ、幼児から中学生までのお子さんのこころの診療に携わる部門であり、わが国の児童精神科医療のモデル的な診療の場を目指して活動を続けています。



代表

国立国際医療研究センター国府台病院
児童精神科診療科長・心理指導室長 宇佐美政英

連絡先 事務部管理課 庶務係長
電話:047-372-3501

Email : kouedu@hospk.ncgm.go.jp

<申し込み方法> QRコードもしくは国府台病院のホームページより申し込みフォームにアクセスし、ご記入ください。

<https://forms.office.com/r/85928kdJ5c>



児童精神科で活躍する臨床心理士

国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科は戦後まもなくから児童精神科専門病棟を運営してきた歴史があります。その治療は同年代の仲間関係を利用しながら、子どもたちの主体性を伸ばし、一人でも多くの子どもが社会に参加していけることを目指しております。

子どものこころの問題を扱うには、心理的な治療がとても重要です。子どもに正しい道を教えるのではなく、子どもと一緒に険しい道の歩き方を学んでいくことだと考えています。子どもたちと一緒に悩み、考え、そして未来に向かって共に歩いて行くために必要な知識と経験は、専門病棟でこそ身につけることができると考えています。

近年、児童精神科において公認心理師による臨床現場での活躍は多岐にわたり、その存在はなくてはならないものです。実際に公認心理師は、治療の方針を決めていく医師や生活面での支援を行う看護とも異なり、入院するしかなかった子どもたちの気持ちに共感し、子どもたちと共に歩んでくれる立場として、児童精神科病棟の治療を土台として支えています。当日は病棟に加えて外来治療も含めた具体的な活動内容について説明します。

児童精神科診療科長・心理指導室長 宇佐美政英

日程・対象・セミナープログラム

日程 令和4年12月14日(水) 18時00分

Microsoft Teams オンライン(申込後にURLを送ります)

対象 指定大学院・専門職大学院生(修士・博士課程在学中に限る)

プログラム

- 18:00 開会の挨拶
- 18:10 児童精神科医療とは
- 18:30 児童精神科における臨床心理士の役割
- 18:50 質疑応答・終わりの挨拶

